

令和6年度 第38回 東海高等学校バスケットボール新人大会

女子決勝

試合日: 2025年2月16日(日)
 会場: 四日市市総合体育館
 コート: A3
 開始時間: 13:20~

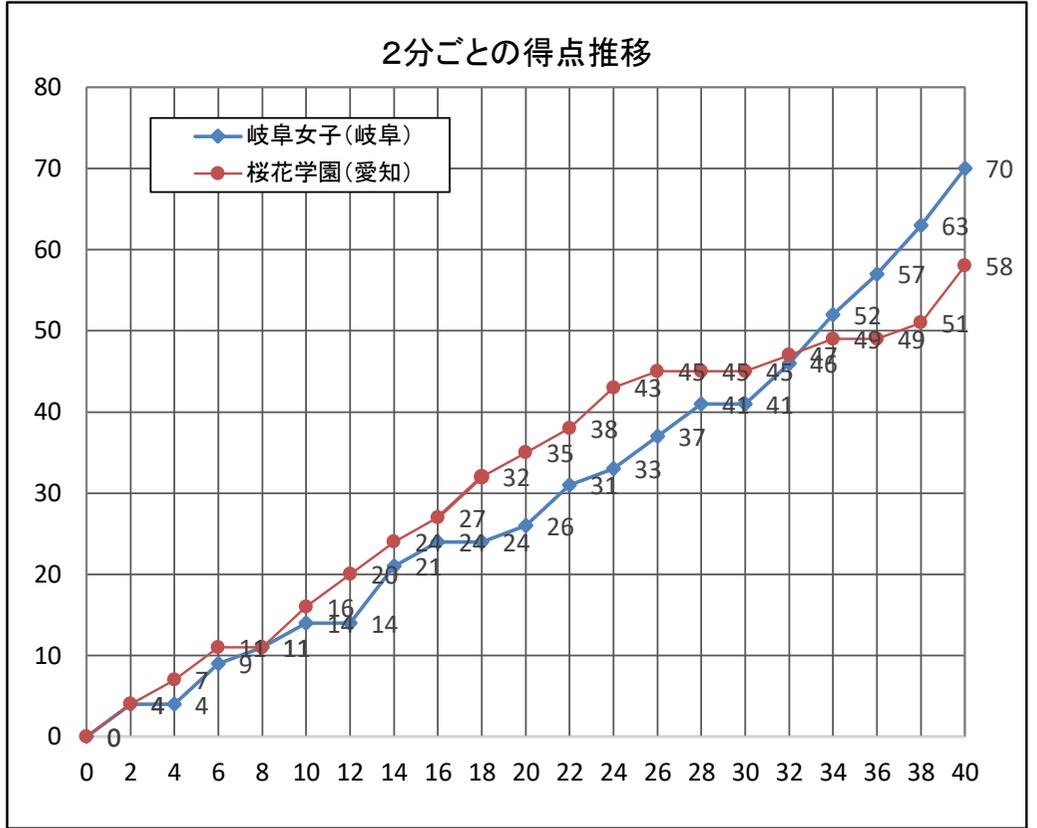
Team A		Team B
岐阜女子 (岐阜)	70	58 桜花学園 (愛知)
	14 - 16	
	12 - 19	
	15 - 10	
	29 - 13	
	OT	

Team A: 岐阜女子(岐阜)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	三宅 香菜	13		6	1	1								
5	*	小松 美羽	11	1	3	2	4								
6	*	市本 彩羽													
7	*	杉浦 結菜	23	1	10		2								
8	*	ゲイ ソハナ	3		1	1	3								
9		北野 空	11	1	4										
10		坂口 みなみ	9	3			3								
11		村木 美聡													
12		中林 睦絵													
13		村上 凜													
14		向山 暖													
15		坂本 莉良													
16		安田 瑠衣													
17		東野 まひる													
18		網野 はる													
Team/Coach:															
合計			70	6	24	4	13	0	0	0	0	0	0	0	

Team B: 桜花学園(愛知)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4		棚倉 七菜子	2		1		1								
5	*	金澤 杏	15	3	2	2									
6		濱田 ななの													
7	*	勝部 璃子	14	2	4		3								
8		水林 夢翔													
9		山田 桜来	2		1	1									
10	*	竹内 みや	18		8	2	3								
11		菅 桜子													
12		小玉 愛莉													
13	*	國武 珂憐	6		3										
14		太田 莉央													
15	*	インボ ディバイン	1			1	2								
16		小林 咲弥花													
17		相上 徠良													
18		小松 美麗													
Team/Coach:															
合計			58	5	19	5	10	0	0	0	0	0	0	0	



【戦評】

記入者

伊藤 友美

1Q、桜花学園は#10のゲームメイクから息の合ったプレーで得点を重ねていく。対する岐阜女子はスクリーンプレーからチャンスを生み出し得点する。両者一步も譲らず14-16で1Q終了。
 2Q、出だしは桜花学園が力強いバスケットカウントやコンビネーションプレーでリードを保つが、岐阜女子も負けじと粘り強いディフェンスからチャンスを増やし食らいつく。桜花学園がリードを少し広げ26-35で前半終了。
 3Q、後半に入っても、#5の3Pなどで桜花学園がリードを維持するが、岐阜女子はハードディフェンスでリズムを作り、スティールから連続得点を得る。桜花学園はたまたずタイムアウト。点差は一気に縮まり41-45で、勝負は第4Qへ。
 4Q、ディフェンスから流れを引き寄せた岐阜女子が残り9分ついに逆点に成功。残り5分まで一進一退の攻防が続いたが、岐阜女子#5のドライブや#9の3Pで岐阜女子が大幅リード。桜花学園はタイムアウトで立て直しを図り、果敢に攻めるが、岐阜女子の勢いは止まらず、70-58で岐阜女子が東海大会女王に輝いた。観客がどよめくような華麗なプレーを魅せた桜花学園の健闘にも拍手を送りたい。

CC

野々村 日希

U1

井出 啓太

U2

神山 安奈

令和6年度 第38回 東海高等学校バスケットボール新人大会

女子3位決定戦

試合日: 2025年2月16日(日)
 会場: 四日市市総合体育館
 コート: C3
 開始時間: 13:20~

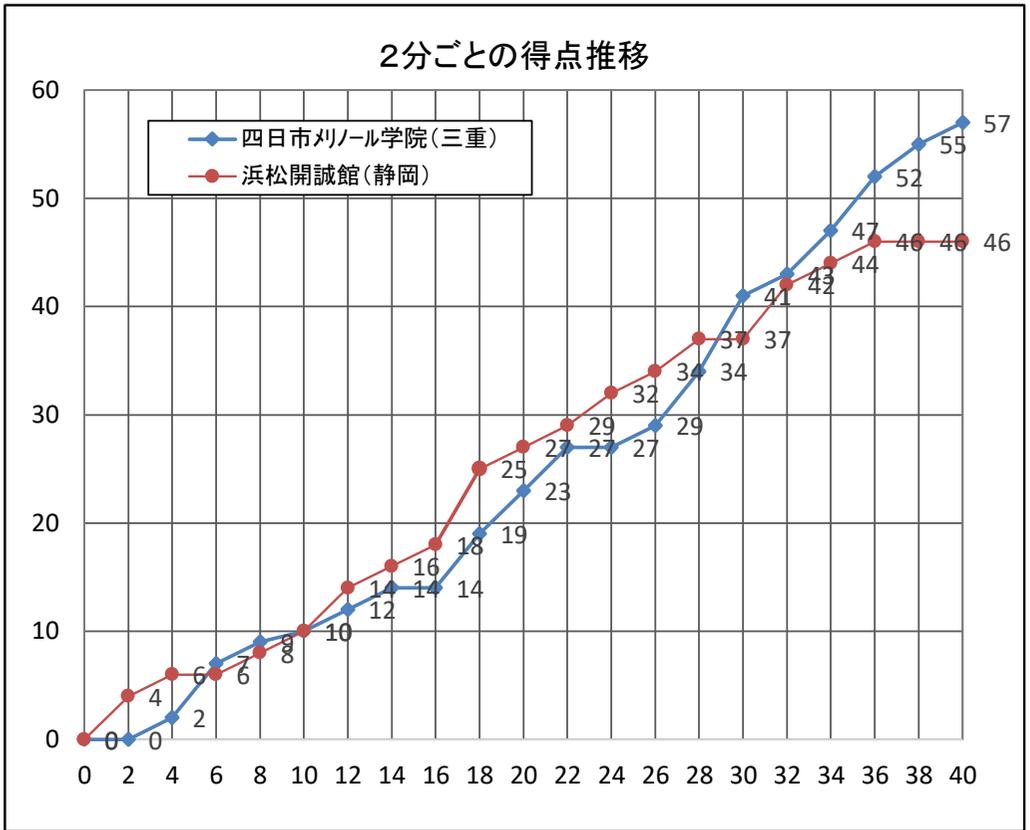
Team A		Team B
四日市リノール学院 (三重)	57	浜松開誠館 (静岡)
10 - 10		
13 - 17		
18 - 10		
16 - 9		
OT		

Team A: 四日市リノール学院(三重)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	吉田 陽香	6	2			1								
5		川口 真央	5	1	1		1								
6	*	伊藤 千寛	20		10		1								
7		根木 ひより	6		3		1								
8	*	山下 藍	5	1	1		1								
9		川端 新菜													
10		澁谷 虹歩	8	2	1		1								
11		佐藤 花楓													
12	*	刀根 綺萌	0				1								
13	*	中嶋 とわ													
14		日高 利亜													
15		戸田 宇美													
16		松本 晴佳													
17		北尾 美玲													
18		望月 咲来	7		3	1									
Team/Coach:															
合計			57	6	19	1	7	0	0	0	0	0	0	0	

Team B: 浜松開誠館(静岡)

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
								OR	DR	TOT					
4	*	前川 桃花	11	1	2	4									
5	*	小幡 美空	2		1		1								
6	*	垣内 優希奈	4		2		1								
7	*	牧田 知紘	14		7										
8	*	小林 陽菜乃	7	1	1	2	1								
9		鈴木 千夏													
10		鈴木 結愛													
11		佐々木 涼渚													
12		坪田 桜子													
13		山本 爽未	8	2	1		3								
14		織田 百々花													
15		持田 莉子													
16		佐伯 捺桜													
17		藤谷 友羅													
18		片岡 美紗													
Team/Coach:															
合計			46	4	14	6	6	0	0	0	0	0	0	0	



【戦評】 記入者 徳利 麻野

1Q、両者オールコートマンツーマンでスタート。開誠館、#7のジャンプショットで先制。その後も#7のドライブやジャンプショットなど外郭を中心に得点。対するメリノールは、#6や#8のインサイドにボールを集め、両者譲らず10-10で1Q終了。

2Q、開誠館は、1Qに続き#7の速いドライブから展開をつくり、順調に得点を重ねる。メリノールも1Q同様、インサイドを中心にアタックを試みるも、なかなか得点に結びつけることができず、残り6分タイムアウト。その後は#4の3Pや#5のスティールからの速攻で意地を見せ、23-27で2Q終了。

3Q、開誠館は、#5の力強いリバウンドや、#13の3Pで得点。しかし、疲れからかシュートを放つもなかなかきめきることができず、苦しい時間が続く。メリノールは、前半から徹底していたインサイドへボールを集め、#6のゴール下やキックアウトからの3Pなど、徐々にチームOFが機能し始める。また、DFでプレッシャーをかけ、相手のミス誘い、逆転に成功。41-37で3Q終了。

4Q、開誠館は#4のドライブや3Pで奮闘するも、一歩及ばず、最後までインサイドにこだわり続けたメリノールが勝利した。

CC 足立 尚隆

U1 福地 真帆

U2 美澤 将史